

# 上田市公文書館だより / 第19号

## ■公文書館から

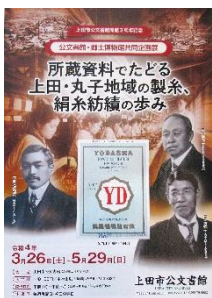
### 「丸子と小諸と茅ヶ崎が糸でつながる話＋島崎藤村＋小山敬三」

●かつて小諸に器械製糸場「純水館」が操業していました。純水館は明治23年(1890)、小諸の豪商・小山久左衛門正友が旧大里村(現小諸市)で創業し、生糸出荷量は全国有数でした。●明治36年(1903)、正友の長女・喜代野が工藤善助の次男・房全(ふさもち)を婿に迎えます。喜代野は小諸義塾女子学習舎で学び、同塾の教師だった島崎藤村から教えを受けました。なお、正友は小諸義塾創設にも関わっています。●時は下り、大正6年(1917)、正友の妻・梅路が喘息療養のため茅ヶ崎町のサナトリウム「南湖院(なんこいん)」へ入院。当院へは小山家の他の家族も入院しています。こんな縁や、当時の茅ヶ崎町が工場誘致に積極的で、町周辺では養蚕が盛ん、横浜に近いことが決め手となり、小山家は「純水館茅ヶ崎製糸場」を創業します。房全が製糸場経営にあたり、高品質な生糸を生産しました。小諸から大勢の工女を呼び寄せたとのこと。このころ依田社は全盛期を迎え、工藤善助が社長でした。房全は製糸場経営の相談を父・善助に幾度もしたのではと想像します。●経営は順調で、製糸技術が高く評価され、大正12年(1923)の皇太子(昭和天皇)ご成婚、昭和3年(1928)の昭和天皇御大典(即位礼)の2回にわたり、全国の養蚕家の献上繭の繰糸を任されました。しかし、大正12年(1923)の関東大震災では工場が倒壊し、喜代野がまきこまれて亡くなります。製糸場再建は果たしますが、昭和10年には房全が亡くなり、恐慌も影響し、昭和12年に閉館しました。●正友の三男は敬三といいます。文化勲章を受賞した画家・小山敬三です。純水館の縁もあり、敬三は茅ヶ崎にアトリエを構えました。このアトリエは、小山敬三美術館の隣に移築されています。(土屋) ※島崎藤村 出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」



島崎藤村

## ■公文書館の催し ※新型コロナの状況により延期・中止があります。事前のご確認をお願いします。



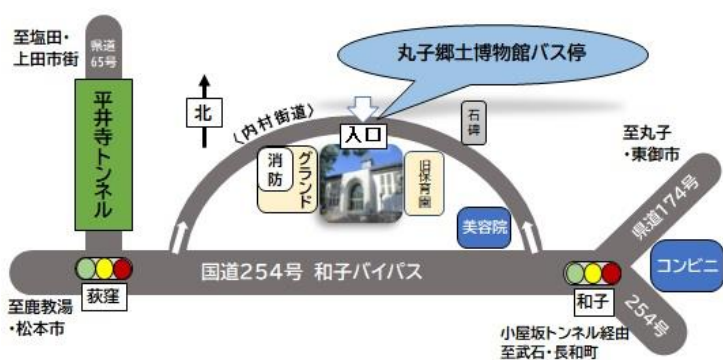
### 公文書館開館3周年記念 公文書館・郷土博物館共同企画展

#### 「所蔵資料でたどる上田・丸子地域の製糸、絹糸紡績の歩み」

一農村を製糸業によって国際産業都市に変貌させた、100年前の企業家たちの挑戦をご覧ください。

■期間 5月29日(日)まで開催中 ■観覧料 100円

## ■公文書館のご案内 開館時間:午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分までに)



### □住所・電話

〒386-0413 長野県上田市東内 2564-1  
Tel.0268(75)6682 Fax0268(75)6683

### □メール

kobunshokan@city.ueda.nagano.jp

### □ホームページ

上田市ホームページ内を公文書館で検索

## ■ 公文書館所蔵資料の紹介

### 「丸子村会の工藤善助議員」関係文書(明治二十二年)



President  
Zensuke Kudo

初代依田社社長下村亀三郎氏の急逝の後、二代目社長に就任した工藤善助氏



明治22年5月の丸子村の「村会議事録」。工藤議員の村長・助役についての発言部分

◆明治22年(1889年)の丸子村「村会議事録」には、5月19日付の「丸子村村長・助役選挙の選挙会」に関する文書が保存されていました。この選挙は町村制が施行された最初の議会で、丸子学校内で選挙会が開設されました。村会議員全員の12名が出席し、工藤善助議員の氏名もみられます。◆この村長・助役選挙について工藤議員は「村長は名誉職とし、助役は二名としてその一名を有給とする条例を希望する」旨、発言しています。この発言に対して、助役については一名の名誉職とする意見が多数を占め、決定されました。初代村長には工藤助三郎氏が当選しました。なお、明治24年の丸子村の「村会議事録」には、2月19日付で中島精一小泉郡長宛に提出した「明治二十二年度村税収支決算報告」があり、そこに記載されていた村長は工藤善助でした。◆工藤氏は安政元年(1854年)に上丸子村に生まれ、蚕種業で成功し、後には製糸業のリーダーとして活躍しました。丸子村長を4回務め、その後、郡会議員を3回、県会議員を3回務めました。明治37年には衆議院議員となり、2回務めました。大正2年には、1月7日の下村亀三郎氏の急逝の後に依田社社長に就任し、同社発展に尽力しました。◆大正8年(1919年)、2期目の衆議院議員在職中には、米国ワシントンで開催された第一回国際労働会議に資本家代表顧問として出席しました。大正11年、12年には、欧米蚕糸業視察団長となり、内外にわたり活躍しました。(倉澤)

## ■ 公文書館の利用について

※公文書館は入場無料、郷土博物館展示室は有料(大人100円)

- 🔍 **資料の検索:** 目録検索システムをご利用ください。
- 📄 **閲覧の申込:** 所定用紙でお申込みください。メール、ファックスでもお申込みできます。一度に閲覧できる点数は「5点」までです。
- 📖 **資料の閲覧:** 個人情報の審査終了後、閲覧の可否を連絡します。館外貸出しは行いませんので、館内閲覧室でご覧ください。



- ◎審査にお時間をいただく場合があります。また、個人情報を含む資料は閲覧できない場合があります。
- ◎目録検索システム、閲覧申込書は、上田市ホームページの公文書館のページからご利用ください。